

# 「八雁」総目次（創刊号〜第二十九号）

年 月 号	2012 1 創刊号	2012 3 No. 2
<p>主要作品・評論・エッセイ等</p>	<p>阿木津英「創刊の辞」  <b>草林集</b> 島田幸典・渡辺民恵（創刊号のみ出詠）・井上みつゑ・上妻朱美・河野幸子・萩原克則・足立尚彦・市野ヒロ子・浅野富美江（創刊号のみ出詠）・松本達雄・真野少・阿木津英（12名）  <b>特別作品</b> 萩原克則「切戸川」、遠藤知恵子「陀陀多の糸」  <b>作品Ⅰ（阿木津英選）</b> 小田鮎子・井上克征ほか  <b>作品Ⅱ（島田幸典選）</b> 衆義夫・松本恭子ほか  <b>作品Ⅲ（阿木津英選）</b> 藤井玄・押谷盛利ほか  <b>連載</b> 島田幸典「鶏窓雑考Ⅰ 仮名遣いについて」、木下長宏「（失われた時）を見出すとき98」（No.6）、石田吉一「名歌探偵10 江口きち」、阿木津英「石田比呂志資料集Ⅰ『SHYORAI』」  <b>各地歌会消息</b>（以下毎号掲載）</p>	<p><b>草林集</b> 阿木津英・井上みつゑ・足立尚彦ほか  <b>特別作品</b> 松本達雄「今朝の光」、小田鮎子「賛美歌」  <b>作品Ⅰ</b> 松森佳子・遠藤知恵子・田和明ほか  <b>作品Ⅱ</b> 瀬戸内光・新地浩一・工藤貴響ほか  <b>作品Ⅲ</b> 片野浜子・住谷恵水・藤井順子ほか  <b>草林集合評</b> 足立尚彦・内藤明（No.7）  <b>作品欄合評</b> 真野少・島田幸典・上妻朱美（No.7）  <b>特別作品評</b> 松森佳子「創刊号特別作品 萩原克則・遠藤知恵子」</p>
<p>特集</p>	<p><b>特集エッセイ「八雁創刊にあたって」</b>          真野少「贈与ということ」、萩原克則「初心にかえれ」、足立尚彦「めぐりあい」、上妻朱美「私の再出発」、工藤貴響「はじまりの断絶」、橋田路「二羽となつて」、井上みつゑ「宇佐郎女所感」、松森佳子「空のキヤラパン」、河野幸子「覚悟を新たに」、佐竹游「新たな一歩」、小田鮎子「八雁創刊に寄せて」、三津浜二緒「群れの殿」、石川亞弓「私の歌をもとめて」、井上克征「潮の道」</p>	<p><b>阿木津英著「二十世紀短歌と女の歌」批評</b>  <b>特集</b>          尾形明子「近代日本文学への一石」、村岡嘉子「新世紀を拓く短歌と歌論」、小田鮎子「短歌に表出する母性」、出版記念会に参加して          佐竹游「新たな出会い」、岡西愛濃「歌と研究と」</p>
<p>主な活動記録</p>	<p>八雁板橋歌会（於・板橋区立グリーンホール）          切戸川短歌会（於・下松駅前 きらび館）          朝日カルチャーセンター立川「短歌・鑑賞と実作」（於・ルミネ立川）          八雁横浜歌会（於・フォーラム南太田）          八雁行橋歌会（於・行橋コミユニティセンター会議室）          八雁鹿児島歌会（於・鹿児島中央駅前キャンセイル）          八雁北九州歌会（於・西小倉市民センター）</p>	<p>1・22 関東地区八雁創刊記念歌会（於・神奈川近代文学館）          2・4 西日本地区八雁創刊記念歌会（於・ブルーウェイブイン小倉）          2・25 第一回琅玕忌（於・熊本近代文学館）</p>

2012	2012	
7	5	
No. 4	No. 3	
<p><b>草林集</b> 阿木津英・井上みつゑほか（植原一徳加入）  <b>寄稿エッセイ</b> 吉村睦人「赤いおぼちゃん」と呼ばれた母」  <b>特別作品</b> 萩原克則「朱夏童子」、植原一徳「背振山」</p>	<p><b>合評余滴</b> 真野少  <b>連載</b> 島田幸典「鶏窓雑考2（継承）」について、阿木津英「石田比呂志資料集2『青濤』（昭30・4）エッセイ」阿木津英「白梅の花の咲くころ」（石田比呂志一周忌）  <b>会員消息</b> 安部智子・有光智恵子・石原百合子・田和明</p> <p><b>草林集</b> 島田幸典・井上みつゑ・河野幸子ほか  <b>詩</b> 岡野百々「景Ⅰ・景Ⅱ」  <b>作品Ⅰ</b> 松森佳子・小田鮎子・田和明ほか  <b>作品Ⅱ</b> 山田たけ子・工藤貴響・糸義夫ほか  <b>作品Ⅲ</b> 向山益雄・押谷盛利・表光夫ほか  <b>特別作品評</b> 市野ヒロ子・松森佳子「第一号特別作品 松本達雄・小田鮎子」  <b>合評余滴</b> 田和明・石川亞弓・真野少  <b>連載</b> 島田幸典「鶏窓雑考3 原発と〈私性〉について」、阿木津英「石田比呂志資料集3『青濤』No.2（昭30・5）」  <b>会員消息</b> 石原立子・大村洋子・押谷盛利・住谷恵水</p>	<p><b>石田吉一追悼特集</b>  石田吉一「遺稿・名歌探偵11 山川登美子」  阿木津英「石田吉一を惜しむ」、三津浜二緒「三枚の絵はがき」、工藤貴響「帰り道」、篠原三郎「書簡・優れた読者」</p>
<p><b>新地浩一歌集「戦なき国」批評特集</b>  塘健「戦なき国に寄す」、島田幸典「個人的な職場詠」  一首評 糸義夫・萩原克則・藤井玄・豊</p>	<p><b>石田比呂志歌論集「閑人囁語」を読む</b>  渡辺幸一「詠うこと」と「生きること」、井上克征「石の鏝の素晴らしい痛さ」  私が選ぶ石田比呂志の言葉  前田雅子・橋田路・三津浜二緒・工藤貴響・三浦恒子・稗田和美・吉原秀雄・向山益雄  歌人・石田比呂志一周忌展に参加して  上妻朱美「短歌にまみれた人生」、福田淳子「歌人の魂に触れるとき」</p> <p><b>前田雅子歌集「芒種」批評特集</b>  馬場昭徳「人生」の前に膝を揃えて、河野幸子「前田雅子のたたずまい」、松森佳子「歌わないということ」  一首評 大光寺博子・笹井美輪・小田鮎子・萩原克則</p>	<p>記念講演・田井安曇「石田比呂志の歌十一首」  3・10 講話・阿木津英「石田比呂志流短歌指南」  わが体験を通して」</p>

年 月 号		2012 9 No. 5
<p>主要作品・評論・エッセイ等</p>	<p>作品Ⅰ 佐竹游・岡西愛濃・小田鮎子ほか          作品Ⅱ 三浦恒子・糸義夫・山田たけ子ほか          作品Ⅲ 住谷恵水・小野和子・片野浜子ほか  <b>特別作品評</b> 市野ヒロ子・松森佳子「外部発表作品          島田幸典「壮子時の声」「岸駒」  <b>合評余滴</b> 大川智子・井上克征・阿木津英  <b>連載</b> 島田幸典「鶏窓雑考4 斎藤茂吉を読むことにつ          ついて」、阿木津英「石田比呂志資料集4『青濤』No.3          (昭30・6)、附・石田比呂志「喜界島秋吟」、石原百          合子「喜界島秋吟」に寄せて」  <b>会員消息</b> 小野和子・井上みつゑ・遠藤知恵子・岡西          愛濃</p>	<p><b>草林集</b> 島田幸典・井上みつゑほか(泉田多美子加入)  <b>特別作品</b> 平井靖治「動態図」  <b>作品Ⅰ</b> 鈴木一俊・向山益雄・住谷恵水ほか  <b>作品Ⅱ</b> 松本恭子・工藤貴響・糸義夫ほか  <b>作品Ⅲ</b> 佐竹游・三津浜二緒・小田鮎子ほか  <b>特別作品評</b> 小田鮎子「第四号特別作品 萩原克則・          榎原一徳」  <b>合評余滴</b> 向山益雄・大谷美保子・三津浜二緒  <b>連載</b> 島田幸典「鶏窓雑考5 戦地詠とリアリズムにつ          いて」、阿木津英「石田比呂志資料集5『青濤』No.4          (昭30・7)」  <b>エッセイ</b> 阿木津英「作歌以前のこと」(「石田比呂志          流短歌指南——わが体験を通して」講話要旨)  <b>会員消息</b> 北吹公・岡野百々・大内マツノ・片野浜子</p>
<p>特 集</p>	<p>嶋雅明  <b>中川健次追悼・小特集</b>          歌集『憶劫』十三首(阿木津英選)          萩原克則「健次とラーメン」、島田幸典          「瀬祭」の思い出——中川健次さんを偲          ぶ」、吉原秀雄「八雁入会の縁」、瀬戸内          光「さびしがらせよ」</p>	<p><b>古谷鏡子著「命ひとつが自由にて」書評特          集</b>          田仲一成「古谷鏡子様」、野呂重雄「一          つの会話」、金井裕「母と娘の物語」、小          高賢「追跡から見えてくるもの——歌人          ・女性・母としての生を考える」、秋山          佐和子「新しく照射された歌人像」</p>
<p>主な活動記録</p>	<p>8・9 八雁熊本歌会設立          (於・熊本市新生阿木津英宅)</p>	<p><b>萩原克則歌集「星月夜」批評特集</b>          池本一郎「歌の真実——萩原克則の根に          触れて」、上妻朱美「自然との大らかな          連帯感」          一首評 松本達雄・三津浜二緒・平井靖          治・藤井順子          ○「八雁ができるまで」(編集          ・発送・会計スタッフ)</p>

2013	2012
1	11
No. 7	No. 6
<p><b>草林集</b> 島田幸典・市野ヒロ子・足立尚彦ほか(12名)  <b>特別作品</b> 榎原一徳「春立つ」、稗田和美「再生」  <b>作品Ⅰ</b> 小田鮎子・松森佳子・石原立子ほか  <b>作品Ⅱ</b> 山田たけ子・三浦恒子・糸義夫ほか  <b>作品Ⅲ</b> 鈴木一俊・押谷盛利・高梨千賀子ほか  <b>特別作品評</b> 河野幸子・松森佳子「第六号特別作品  松本達雄・足立尚彦」  <b>合評余滴</b> 平井靖治・萩原克則  <b>連載</b> 島田幸典「鶏窓雑考7 渡辺直己をめぐる評価  について」、木下長宏「失われた時」を見出すとき  104」(No.12)、阿木津英「石田比呂志資料集7『群炎』  (昭30・8、昭30・12)」  <b>新連載</b> 阿木津英「続櫂の木のうで1」(No.8、10、11)、</p>	<p><b>草林集</b> 阿木津英・井上みつゑ・足立尚彦ほか  <b>特別作品</b> 松本達雄「みぞれ降る駅、足立尚彦「雨  宿り」  <b>作品Ⅰ</b> ほしのていこ・鈴木一俊・住谷恵水ほか  <b>作品Ⅱ</b> 松本恭子・工藤貴響・糸義夫ほか  <b>作品Ⅲ</b> 佐竹游・三津浜二緒・小田鮎子ほか  <b>特別作品評</b> 萩原克則・松森佳子「第五号特別作品  平井靖治 外部発表作品 真野少「掌」、市野ヒロ  子「天気図」、小田鮎子「被災地」  <b>合評余滴</b> 三浦恒子・松本達雄・阿木津英  <b>連載</b> 島田幸典「鶏窓雑考6『万葉秀歌』について、  阿木津英「石田比呂志資料集6 合同歌集『標土』(昭  30・7)」  <b>会員消息</b> 河野幸子・笹井美輪・岡本清高・佐竹游</p>
<p><b>押谷盛利歌集「旅」批評特集</b>  豊嶋雅明「うつせみの」、藤井玄「時間  の旅人——自らの人生を詠う」  一首評 榎原一徳・高梨千賀子・新地浩  一・三浦恒子  <b>第一回八雁短歌会全国大会 in 北九州</b>  感想エッセイ  萩原克則・前田雅子・中嶋紀枝・島田達  巳・高梨千賀子・松本達雄・井上克征・  新地浩一・小田鮎子・工藤貴響・三浦恒  子・石川亞弓</p>	<p><b>泉田多美子歌集「紫花菜」批評特集</b>  桜井登世子「含羞の美しさ——歌を日向  に転して」、糸義夫「乾質の抒情」  一首評 豊嶋雅明・新地浩一・遠藤知恵  子・市野ヒロ子  <b>空菜追悼・小特集</b>  「空菜の歌十三首」(阿木津英選)  河野幸子「風の夕べを」、今井美紀子「作  歌ノート」、松岡皓二「天敵」、松本恭子  「葉書」、前田雅子「三婆」  歌集『鬱金集』石田比呂志跋文より</p>

2013	2013	年
5	3	年
No. 9	No. 8	号
<p><b>草林集</b> 島田幸典・上妻朱美・真野少・足立尚彦ほか  <b>特別作品</b> 桑義夫「日月」、萩原克則「海峡に風の道」</p> <p><b>会員消息</b> 桑義夫・庄司芳江・足立尚彦・鈴木一俊  <b>コラム</b> 北田修「米原万里のこと」</p>	<p><b>インタビュ</b> 渡辺幸一（聞き手Ⅱ阿木津英）  <b>草林集</b> 阿木津英・井上みつるほか（桑義夫加入）  <b>作品Ⅰ</b> 佐竹游・井上克征・佐藤有一ほか  <b>作品Ⅱ</b> 新地浩一・瀬戸内光・松本恭子ほか  <b>作品Ⅲ</b> 松岡皓二・鈴木一俊・笹井水輪ほか  <b>草林集合評</b> 渡辺幸一・萩原克則・阿木津英（No.13）  <b>作品欄合評</b> 河野幸子・小田鮎子・平井靖治（No.13）  <b>特別作品評</b> 上妻朱美・遠藤知恵子「第七号特別作品 檜原一徳・稗田和美」  <b>合評余滴</b> 佐竹游・工藤貴響・稗田和美・岡野百々  <b>時評</b> 松森佳子「外なる壁と内なる壁——ネット社会における結社の意義」</p> <p><b>連載</b> 島田幸典「鶏窓雑考 8 古典を読むことについて」、阿木津英「石田比呂志資料集 8『標土』（昭31・1・3・4・5）」</p>	<p>主要作品・評論・エッセイ等</p> <p>島田達巳「組織論からみた結社について1」（No.12）  <b>会員消息</b> 城田武雄・大谷美保子・瀬戸内光・市野ヒロ子  <b>コラム</b> 住谷恵水「何をなすべきか」、橋田路「短歌の不思議」</p>
<p><b>笹井水輪歌集</b>「ふうせんかすら」<b>批評特集</b>          久々湊盈子「飯はしばらくお待ち下さ」</p>	<p><b>松岡皓二歌集</b>「翼鏡」<b>批評特集</b>          榎木恒寿「細部を見て感じる力」、河野幸子「人は力を尽す」          一首評 向山益雄・今井美紀子・石川亞弓・泉田多美子</p>	<p>特 集</p> <p>「記紀歌語を読む」レポート          遠藤知恵子「中大兄皇子の口号について」、岡西愛濃「明るく強い女の歌二首」、大川智子「声に出して味わう」、藤井玄「記紀の性格の差」、上妻朱美「古代語の魅力」、島田幸典「醜屋の乙女」</p>
		<p>主な活動記録</p> <p>2・23 第二回琅玕忌（於 健軍文化ホール会議室A）講演          ・大島史洋「思い出の中の石田比呂志」</p>

2013	
7	
No. 10	
<p>草林集 阿木津英・市野ヒロ子・萩原克則ほか  <b>特別作品</b> 藤井玄「船影」  <b>作品Ⅰ</b> 鈴木一俊・林ひかる・佐藤有一ほか  <b>作品Ⅱ</b> 溝脇哲子・工藤貴響・新地浩一ほか  <b>作品Ⅲ</b> 小田鮎子・柚木曜介・水島育子ほか  <b>特別作品評</b> 泉田多美子・足立尚彦「第九号特別作品    象義夫・萩原克則」  <b>合評余滴</b> 鈴木一俊・藤井順子・遠藤知恵子・三津浜    二緒  <b>時評</b> 松森佳子「時代感覚と私性」  <b>往復書簡</b> 工藤貴響「歌は社会を変えられるか」  <b>連載</b> 島田幸典「鶏窓雑考10〈文語〉短歌について」</p>	<p>あり——牧水歌碑を尋ねて」  <b>作品Ⅰ</b> 三津浜二緒・水島育子・石川亞弓ほか  <b>作品Ⅱ</b> 三浦恒子・山田たけ子・溝脇哲子ほか  <b>作品Ⅲ</b> 松岡皓二・平井靖治・ほしのていこほか  <b>特別作品評</b> 島田幸典「静中の動——阿木津英の歌」    (外部発表作品 阿木津英「青のひびき」「二〇二二年六月」「土のほそみち」「邪悪の種子」)  <b>合評余滴</b> 足立尚彦・上妻朱美・田和明・井上克征  <b>時評</b> 松森佳子「臨場感とは何か」  <b>往復書簡</b> 篠原三郎・阿木津英「歌で社会を変えることは本当にできないのか」  <b>連載</b> 島田幸典「鶏窓雑考9 米口實氏と『惜命』について」、阿木津英「石田比呂志資料集9『標土』(昭31.6.7)」  <b>会員消息</b> 斉藤政夫・新地浩一・園田富士子・石川亞弓</p>
<p><b>阿木津英著『方代を読む』書評特集</b>    吉田文憲「方代の「身体の記憶」に耳を澄ます」、篠原三郎「『方代を読む』に学ぶ」、石川亞弓「歌を杖として」</p>	<p>れ」、瀬戸内光「悲しみの器から零れゆくもの」    一首評 前田雅子・三浦恒子・井上克征・足立尚彦</p>

2013	2013	年
11	9	月
No.12	No.11	号
<p><b>草林集</b> 阿木津英・泉田多美子・足立尚彦ほか</p> <p><b>作品Ⅰ</b> 佐藤有一・佐竹游・水島育子ほか</p> <p><b>作品Ⅱ</b> 永良えり子・瀬戸内光・新地浩一ほか</p> <p><b>作品Ⅲ</b> 藤井玄・島田達巳・鈴木一俊ほか</p> <p><b>特別作品評</b> 水島育子・真野少「外部発表作品 島田</p>	<p><b>草林集</b> 島田幸典・上妻朱美・市野ヒロ子ほか</p> <p><b>作品Ⅰ</b> 岡野百々・島田達巳・水島育子ほか</p> <p><b>作品Ⅱ</b> 工藤貴響・瀬戸内光・小本恭子ほか</p> <p><b>作品Ⅲ</b> 松岡皓二・笹井水輪・野和子ほか</p> <p><b>特別作品評</b> 上妻朱美・向山益雄「第十号特別作品 藤井玄 外部発表作品 工藤貴響「燧石」、松岡皓二「啓蟄の虫」」</p> <p><b>合評余滴</b> 真野少・松本達雄・阿木津英</p> <p><b>時評</b> 松森佳子「批評がすべきこと」</p> <p><b>往復書簡</b> 篠原三郎「歌人は社会の中心であり一部であり」、小田鮎子「意識を産業化されないために」、<b>連載</b> 島田幸典「鶏窓雑考11「山百合」について」、阿木津英「石田比呂志資料集11「群炎」(昭31.1.15)」</p> <p><b>エッセイ</b> 遠藤知恵子「短歌の中に、ポピュラーソング」</p> <p><b>会員消息</b> 藤井順子・大川智子・田中英子・井上克征</p>	<p>主要作品・評論・エッセイ等</p> <p>阿木津英「石田比呂志資料集10『短歌』(昭31.9)」、『標土』(昭31.9.10)」</p> <p>会員消息 泉田多美子・原精子・関口智子・大光寺博子</p>
<p><b>足立尚彦歌集「でるんでる」批評特集</b></p> <p>伊藤一彦「分かれ目」、小田鮎子「引き受けていく覚悟」</p>	<p><b>石田比呂志第一歌集再読「無用の歌」</b></p> <p>島田幸典「(小心)の意味するもの——『無用の歌』における労働詠をめぐって」、工藤貴響「生き惑うて磨かれる」、瀬戸内光「無用の評」</p> <p>私が選ぶ『無用の歌』一首</p> <p>泉田多美子・松岡皓二・新地浩一・遠藤知恵子・藤井玄・桑義夫・押谷盛利・笹井水輪</p>	<p>特集</p>
<p>○オプシオン「文学散歩」(ニコライ堂、湯島聖堂、神田明神、森鷗外記念館)</p>	<p>○「万葉集を読む」巻一・二編(レポーター)／石川亞弓・工藤貴響・小田鮎子・松森佳子・真野少・松本達雄 司会／島田幸典</p> <p>○デイスカッション「八雁のめざすもの」(司会／萩原克則)</p>	<p>主な活動記録</p> <p>9.7.8 第二回八雁短歌会全国大会 in 東京(於・中野サンプラザ)</p> <p>○講演 木下長宏「仮名」書の磁場——和歌の底流を求めて」</p> <p>○歌会(選者／阿木津英、島田幸典)</p> <p>○深夜トーク「八雁九月号作品席上合評」(評者／遠藤知恵子・近藤優樹・島田達巳・岡野百々・佐藤有一・吉原秀雄 司会 斉藤政夫・田和明)</p>

2014	
1	
No. 13	
<p>草林集 島田幸典・井上みつるほか(笹井水輪加入・14名)</p> <p>特別作品 榎原一徳「ジェルソミーナ」</p> <p>作品Ⅰ 浜祥子・鈴木一俊・藤井玄ほか</p> <p>作品Ⅱ 新地浩一・園田富士子・松本恭子ほか</p> <p>作品Ⅲ 小田鮎子・水島育子・近藤優樹ほか</p> <p>合評余滴 足立尚彦・上妻朱美・井上克征</p> <p>時評 松森佳子「歌を生活する」ということ</p> <p>連載 島田幸典「鶏窓雑考13 作品の背後にあるものについて」、阿木津英「続櫛の木の下の5」(No.15、17、18)、島田達巳「組織論からみた結社について7」(No.18)、鳩虫「忌野清志郎試論2」(No.18)、阿木津英「石田比呂志資料集13『標土』(昭32・7・8・10・11)」</p> <p>会員消息 福田淳子・高梨千賀子・萩原克則・林ひかる</p>	<p>幸典「空咳」「車庫の犬」「小さき窓」「長宗我部」(様式)</p> <p>合評余滴 田和明・足立尚彦・松岡皓二・向山益雄</p> <p>時評 松森佳子「万葉集に「文学」として出会う」</p> <p>往復書簡 阿木津英「いい作品を創りあげること」</p> <p>連載 島田幸典「鶏窓雑考12 佐々木実之『日想』について」、阿木津英「石田比呂志資料集12『標土』(昭32・1・3・5)」</p> <p>新連載 鳩虫「忌野清志郎試論1」</p> <p>コラム 篠原三郎「山百合笹百合——阿木津宛書簡より」</p> <p>一口エッセイ 足立尚彦「出合いはスリリング」</p> <p>会員消息 豊島登美子・名倉道子・田中嘉子・中嶋紀枝</p>
<p>第二回八雁短歌会全国大会 in 東京</p> <p>講演録</p> <p>木下長宏「仮名」書の磁場——和歌の底流を求めて」</p> <p>感想エッセイ</p> <p>藤井玄・大川智子・近藤優樹・岡野百々</p> <p>・佐藤有一・松本恭子・田和明・平井靖治・関口智子・遠藤知恵子・高久より子</p> <p>・糸義夫</p> <p>「万葉集を読む」レポート</p> <p>工藤貴響「日並皇子挽歌と間接的な嘆き」、真野少「リフレインについて」、松森佳子「写生の歌の味わい方」、松本達雄「志貴皇子の歌の魅力」、小田鮎子「悲劇の歌の姿」</p>	<p>一首評 島田幸典・工藤貴響・笹井水輪・阿木津英</p>

2014	2014	年
5	3	月
No. 15	No. 14	号
<p>草林集 島田幸典・高橋則子・足立尚彦ほか  寄稿エッセイ 古谷鏡子「イスタンブール初見聞記」  特別作品 萩原克則「スペインの風2」  作品Ⅰ 高久より子・小田鮎子・佐竹游ほか</p>	<p>評論 阿木津英「フクシマの沈黙の闇に届く歌をもとめて——ドキュメンタリー化する短歌と共苦の衝動から生まれる想像力と」  草林集 阿木津英・井上みつるほか（高橋則子加入）  特別作品 小田鮎子「五右衛門風呂」、萩原克則「スペインの風1」  作品Ⅰ 林ひかる・高久より子・佐竹游ほか  作品Ⅱ 松本恭子・園田富士子・瀬戸内光ほか  作品Ⅲ 松岡皓二・押谷盛利・表光夫ほか  草林集合評 上妻朱美・一ノ関忠人・佐竹游（No. 19）  作品欄合評 井上克征・松本達雄・工藤貴響（No. 19）  特別作品評 瀬戸内光・新地浩一「第十三号特別作品 栖原一徳 外部発表作品 小田鮎子「装飾品」、工藤貴響「漢方薬」」  合評余滴 田和明・佐藤有一・柚木曜介・松本恭子・斉藤政夫・吉原秀雄  時評 松森佳子「歌会とはいかなる場か」  連載 木下長宏「へ失われた時」を見出すとき110（No. 18）、島田幸典「鶏窓雑考14〈史跡〉を詠んだ歌について」、阿木津英「石田比呂志資料集14『標土』（昭33・1〜4）」  会員消息 近藤優樹・三浦恒子・藤井征子</p>	<p>主要作品・評論・エッセイ等</p>
		<p>特集</p>
		<p>主な活動記録</p> <p>2・22 第三回琅玕忌（於健康文化ホール会議室A）講演  ・渡辺幸一「石田比呂志と私」</p>

2014	
7	
No. 16	
<p> <b>草林集</b> 阿木津英・足立尚彦・松本達雄ほか  <b>作品Ⅰ</b> 鈴木一俊・安成元子・向山益雄ほか  <b>作品Ⅱ</b> 瀬戸内光・松本恭子・三浦恒子ほか  <b>作品Ⅲ</b> 小田鮎子・大川智子・関口智子ほか  <b>特別作品評</b> 向山益雄・永良えり子「第十五号特別作品 萩原克則」  <b>合評余滴</b> 柚木暉介・大光寺博子・藤井玄  <b>時評</b> 松森佳子「『物語』を欲求する時代」  <b>評論</b> 小田鮎子「求められる『照り返しの眼』(阿木津英評論を読んで)」、阿木津英「作者・作中主体・実生活者——松村由利子時評(『かりん』五月号)について」  <b>連載</b> 島田幸典「鶏窓雑考16 品田悦一の茂吉論について」、阿木津英「石田比呂志資料集16『標土』(昭33・8・6)」 </p>	<p> <b>作品Ⅱ</b> 瀬戸内光・工藤貴響・永良えり子ほか  <b>作品Ⅲ</b> 住谷恵水・向山益雄・若槻敦子ほか  <b>特別作品評</b> 桑義夫・高橋則子「第十四号特別作品 小田鮎子・萩原克則」  <b>合評余滴</b> 永良えり子・近藤優樹・高久より子・鈴木一俊  <b>時評</b> 松森佳子「誘導する批評の危うさ」  <b>連載</b> 島田幸典「鶏窓雑考15 歌・人・時代の関わりについて」、阿木津英「石田比呂志資料集15『標土』(昭33・5・6)」附・松岡皓二・吉原秀雄・大谷美保子「第三回琅玕忌に参加して」  <b>会員消息</b> 藤井玄・ほしのていこ・盛田五三郎・三津浜一緒 </p>
<p> <b>私にとって歌会は必要か</b>          足立尚彦・真野少・河野幸子・上妻朱美          ・大川智子・石川亞弓・瀬戸内光・高橋則子 </p>	

年 月 号	2014 11 No.18	2014 9 No.17	2014 11 No.18
主要作品・評論・エッセイ等	<b>会員消息</b> 稗田和美・平井靖治・松岡皓二・松本恭子  <b>草林集</b> 島田幸典・市野ヒロ子・足立尚彦ほか <b>作品Ⅰ</b> 藤井順子・鈴木一俊・片野浜子ほか <b>作品Ⅱ</b> 園田富士子・溝脇哲子・永良えり子ほか <b>作品Ⅲ</b> 松森佳子・佐竹游・柚木曜介ほか <b>特別作品評</b> 高橋則子・上妻朱美 「外部発表作品 阿木津英「春の薄ぐも」」「眉月「雨後」「ひびき」「菜の」とくに」「江津湖周辺にありてうたふ」「残念」「餐」 <b>合評余滴</b> 吉原秀雄・斉藤政夫・泉田多美子 <b>時評</b> 松森佳子「これまでの秀歌・これからの秀歌」 <b>連載</b> 島田幸典「鶏窓雑考17 石田比呂志の四十年代作品について」、阿木津英「石田比呂志資料集17『標土』（昭33・10・12）」 <b>会員消息</b> 真野少・松本達雄・松森佳子・西田アサオ	<b>二十代三十代競詠・批評特集</b> 小田鮎子「兆ず戦意は」、遠藤知恵子「母とその母」、水島育子「花緑青」、近藤優樹「アダムのリング」、関口智子「苦味」、柚木曜介「無限抱擁」、石川亞弓「八日目の月」、工藤貴響「変調」	<b>合評余滴</b> 田和明・岡野百々・吉原秀雄・新地浩一 <b>特別作品</b> 萩原克則「枇杷の実もぎし——港区の麻布十番小窓より仰ぐ夕空かりがね渡る」 <b>作品Ⅰ</b> 三津浜二緒・岡野百々・松森佳子ほか <b>作品Ⅱ</b> 溝脇哲子・松本恭子・三浦恒子ほか <b>作品Ⅲ</b> 林ひかる・住谷恵水・高久より子ほか <b>特別作品評</b> 島田幸典・市野ヒロ子「外部発表作品 足立尚彦「困ってしまふ」、小田鮎子「沈黙」、高橋則子「顔」、松森佳子「群青のかげ」」 <b>合評余滴</b> 田和明・岡野百々・吉原秀雄・新地浩一
特集	<b>二十代三十代競詠・批評特集</b> 十五首+小エッセイ 小田鮎子「兆ず戦意は」、遠藤知恵子「母とその母」、水島育子「花緑青」、近藤優樹「アダムのリング」、関口智子「苦味」、柚木曜介「無限抱擁」、石川亞弓「八日目の月」、工藤貴響「変調」	<b>二十代三十代競詠・批評特集</b> 小島ゆかり「見えるもの、見えないもの」、澤村斉美「詩型に向き合う八人」、真野少「マルドロールをめぐる」	<b>二十代三十代競詠・批評特集</b> 小島ゆかり「見えるもの、見えないもの」、澤村斉美「詩型に向き合う八人」、真野少「マルドロールをめぐる」
主な活動記録	9・6・7 第三回八雁短歌会全国大会 in 宇佐（於・宇佐ホテルリバーサイド） ○歌会（評者／阿木津英・河野幸子・上妻朱美・島田幸典・高橋則子・萩原克則・真野少 司会／吉原秀雄・若月圭子） ○深夜トーク「八雁九月号による東西歌合わせ」（評者／福田淳子・三浦恒子・小田鮎子・藤井玄・斉藤政夫・工藤貴響 司会／松森佳子・田和明） ○「万葉集を読む——巻三・四編」（レポーター／井上克征・永良えり子・三津浜二緒・柚木曜介・大川智子 司会 阿木津英） ○「八雁のしくみ・事務連絡」 ○オプショント「宇佐神宮・県立歴史博物館を巡る」	○深夜トーク「八雁九月号による東西歌合わせ」（評者／福田淳子・三浦恒子・小田鮎子・藤井玄・斉藤政夫・工藤貴響 司会／松森佳子・田和明） ○「万葉集を読む——巻三・四編」（レポーター／井上克征・永良えり子・三津浜二緒・柚木曜介・大川智子 司会 阿木津英） ○「八雁のしくみ・事務連絡」 ○オプショント「宇佐神宮・県立歴史博物館を巡る」	○深夜トーク「八雁九月号による東西歌合わせ」（評者／福田淳子・三浦恒子・小田鮎子・藤井玄・斉藤政夫・工藤貴響 司会／松森佳子・田和明） ○「万葉集を読む——巻三・四編」（レポーター／井上克征・永良えり子・三津浜二緒・柚木曜介・大川智子 司会 阿木津英） ○「八雁のしくみ・事務連絡」 ○オプショント「宇佐神宮・県立歴史博物館を巡る」

2015	2015	
3	1	
No. 20	No. 19	
<p><b>草林集</b> 阿木津英・足立尚彦・高橋則子ほか  <b>特別作品</b> 吉田佳菜「月のひかり」、井上克征「プラス消費税」  <b>作品I</b> 遠藤知恵子・柚木曜介・稗田和美ほか</p>	<p><b>時評</b> 松森佳子「発表の場による影響」  <b>連載</b> 島田幸典「鶏窓雑考18 永守恭子「夏の沼」他について」、阿木津英「石田比呂志資料集18『標土』(昭34・1・2)」  <b>会員消息</b> 若槻敦子・向山益雄・三津浜二緒・吉田佳菜  <b>特別作品</b> 島田幸典・井上みつゑ・河野幸子ほか(15名)  <b>作品I</b> 松本達雄「落葉松林」  <b>作品II</b> 松岡皓二・押谷盛利・浜祥子ほか  <b>作品III</b> 永良えり子・新地浩一・溝脇哲子ほか  <b>特別作品評</b> 小田鮎子・新地浩一「第十八号特別作品 萩原克則」  <b>合評余瀆</b> 松本恭子・田和明・稗田和美・近藤優樹  <b>時評</b> 松森佳子「排泄を歌うということ」  <b>連載</b> 木下長宏「〈失われた時〉を見出すとき115」(No.24)、島田幸典「鶏窓雑考19 結社の歌会について」、島田達巳「組織論からみた結社について13」(了)、鳩虫「忌野清志郎試論8」(No.24)、阿木津英「石田比呂志資料集19『標土』(昭34・3・5・6)」  <b>エッセイ</b> 石原立子「精神のごとく」  <b>会員消息</b> 足立尚彦・安成元子・若月圭子・石原立子</p>	
	<p><b>第三回八雁短歌会全国大会 in 宇佐</b>  冒頭挨拶  阿木津英「創刊三周年にあたって」  感想エッセイ  安部智子・松森佳子・原精子・藤井順子  ・大村洋子・井上克征・石川亞弓・笹井水輪・泉田多美子・福田淳子  「万葉集を読む」レポート  永良えり子「高市黒人「鶴鳴渡る」の歌」、柚木曜介「歌の連環、その「俗」を楽しむ」、三津浜二緒「挽歌について」、井上克征「たわむれの相聞とまことの相聞」</p>	
	<p>2・21 第四回琅玕忌(於健康文化ホール会議室A) 講演  ・福島泰樹「志と無頼」</p>	<p>11・23 八雁大分歌会設立(於大分ホルトホール)  11・29 八雁京都歌会設立(於こどもみらい館)</p>

2015		年
5		月
No. 21		号
<p> <b>草林集</b> 島田幸典・萩原克則・叡義夫ほか  <b>作品I</b> 佐竹游・柚木曜介・大川智子ほか  <b>作品II</b> 工藤貴響・三浦恒子・永良えり子ほか  <b>作品III</b> 鈴木一俊・住谷恵水・藤井順子ほか  <b>特別作品評</b> 上妻朱美・稗田和美「第二十号特別作品  吉田佳菜・井上克征」  <b>合評余滴</b> 佐藤有一・石川亞弓・島田達巳・近藤優樹  ・阿木津英  <b>連載</b> 阿木津英「石田比呂志資料集21『標土』(昭33・12  ——高野美智子追悼号)」  <b>会員消息</b> 乾正・井上克征・遠藤知恵子・田和明 </p>	<p> <b>作品II</b> 永良えり子・松本恭子・溝脇哲子ほか  <b>作品III</b> 安成元子・住谷恵水・ほしのていこほか  <b>草林集合評</b> 黒木三千代・三津浜二緒・島田幸典(No. 25)  <b>作品欄合評</b> 真野少・吉原秀雄・高橋則子(No. 25)  <b>特別作品評</b> 足立尚彦・小田鮎子・藤井順子「第十九号特別作品 水島育子・榎原一徳・松本達雄」  <b>合評余滴</b> 永良えり子・稗田和美・水島育子・遠藤知恵子・大川智子  <b>時評</b> 柚木曜介「なぜ若手歌人は「死」をうたうのか」  <b>連載</b> 阿木津英「続樺の木の下で9」(No. 21、22、24)、阿木津英「石田比呂志資料集20『山口県短歌』(昭32・12、33・1〜4)」  <b>会員消息</b> 安部智子・磯部理美子・飯野信子・井上房子 </p>	<p>           主要作品・評論・エッセイ等         </p>
<p> <b>阿木津英歌集「黄鳥」批評特集</b>  栗木京子「都市の歌、顔の歌」、真野少「動機について——言葉が獲得する物質性」、木下長宏「『黄鳥』味読途上の記——自己表現の〈近代〉を抜け出て」  一首評 古谷鏡子・泉田多美子・工藤貴響・市野ヒロ子 </p>		<p>           特集         </p>
		<p>           主な活動記録         </p>

2015	2015
9	7
No. 23	No. 22
<p><b>草林集</b> 島田幸典・高橋則子・足立尚彦ほか</p> <p><b>特別作品</b> 松本達雄「豪吾」</p> <p><b>作品Ⅰ</b> 小田鮎子・大川智子・水島育子ほか</p> <p><b>作品Ⅱ</b> 工藤貴響・園田富士子・永良えり子ほか</p> <p><b>作品Ⅲ</b> 表光夫・藤井玄・高梨千賀子ほか</p> <p><b>特別作品評</b> 河野幸子・井上克征「外部発表作品 市野ヒロ子「雨冷え」、真野少「山梨」、佐竹游「紫牡丹」「青き玻璃」、遠藤知恵子「かたち」、高久より子、萩原克則」</p> <p><b>合評余滴</b> 若月圭子・佐竹游・水島育子</p> <p><b>連載</b> 阿木津英「石田比呂志資料集23『標土』(昭34:10)</p> <p><b>会員消息</b> 岡野百々・大村洋子・大内マツノ・大西順子</p>	<p><b>草林集</b> 阿木津英・井上みつゑ・松本達雄ほか</p> <p><b>絶詠</b> 吉田佳菜「骨の色して」</p> <p><b>作品Ⅰ</b> 田和明・吉原秀雄・島田達巳ほか</p> <p><b>作品Ⅱ</b> 永良えり子・松本恭子・園田富士子ほか</p> <p><b>作品Ⅲ</b> 松岡皓二・大内マツノ・鈴木一俊ほか</p> <p><b>特別作品評</b> 上妻朱美・工藤貴響「外部発表作品 島田幸典「夕蟬の声」「換算」「委員」「ノイズ」「雨気」「丸腰」</p> <p><b>合評余滴</b> 河野幸子・松本恭子・新地浩一・工藤貴響</p> <p><b>連載</b> 阿木津英「石田比呂志資料集22『標土』(昭34:7)</p> <p><b>レポート</b> 三津浜二緒「啄木祭二〇一五 近藤典彦氏の講演を聞いて」</p> <p><b>会員消息</b> 井上みつゑ・市野ヒロ子・石川亞弓・大谷美保子</p>
<p><b>競詠特集「老いて学ぶ」</b></p> <p>十首＋エッセイ</p> <p>井上みつゑ「桜子・桃子」、押谷盛利「わが朝」、松岡皓二「蜥蜴」、榎原一徳「日田英彦山線」、庄司芳江「平和の世にて」、藤原スミエ「羽ばたき生きん」</p> <p>若い世代からのメッセージ</p> <p>小田鮎子・水島育子・工藤貴響・近藤優樹・瀬戸内光・関口智子・遠藤知恵子・福田淳子・石川亞弓</p>	<p><b>佐竹游歌集「草笛」批評特集</b></p> <p>黒瀬珂瀾「命と命の關係」、島田幸典「言葉と存在」、金井淑子「私とは誰か?」</p> <p>——「沈黙の扉」を内破する声・ことば——</p> <p>一評 林ひかる・小田鮎子・水島育子・大川智子</p>
<p>○デイスカッション「万葉集を読む——巻五・六」(レポート)／市野ヒロ子・遠藤知恵子・上妻朱美・島田達巳・永良えり子 司会／島田幸典</p> <p>○「八雁一問一答 選歌・添削・編集・運営その他」</p> <p>○オプシオン「歌集『方代』の浅間町界限・横浜外国人墓地・港の見える丘公園散策」</p>	<p>8・29～30 第四回八雁短歌会全国大会 in 横浜(於、ホテル横浜ガーデン)</p> <p>○歌会(評者／阿木津英・泉田多美子・河野幸子・佐竹游・島田幸典・真野少・三津浜二緒 司会／田和明・大川智子)</p> <p>○深夜トーク「同世代の歌への疑問」(発表者／大川智子・小田鮎子・遠藤知恵子・石川亞弓 司会／工藤貴響)</p>

2016	2015	年
1	11	月
No. 25	No. 24	号
<p><b>草林集</b> 島田幸典・泉田多美子・佐竹游ほか(18名)</p> <p><b>特別作品</b> 榎原一徳「嵐ヶ丘II」、藤井玄「エスパ―ニヤ」</p> <p><b>作品I</b> 大川智子・遠藤知恵子・稗田和美ほか</p> <p><b>作品II</b> 松本恭子・千田まゆみ・園田富士子ほか</p> <p><b>作品III</b> 松岡皓二・吉原秀雄・平井靖治ほか</p> <p><b>特別作品評</b> 佐竹游・小田鮎子「外部発表作品 阿木津英「GAZA」追憶」「水辺偶感」「日と夜と」「晩秋雑歌」「群衆」「ちはらぎくら」「木々、また人びと」「諸草の茎」「青草むららし」</p> <p><b>合評余滴</b> 高橋則子・松本達雄・関口智子・若月圭子・近藤優樹・水島育子</p> <p><b>連載</b> 木下長宏「(失われた時)を見出すとき120」(一)</p>	<p><b>草林集</b> 阿木津英・上妻朱美・真野少ほか(安藤直彦・安成元子・佐竹游加入)</p> <p><b>作品I</b> 平井靖治・藤井玄・鈴木一俊ほか</p> <p><b>作品II</b> 新地浩一・永良えり子・瀬戸内光ほか</p> <p><b>作品III</b> 小田鮎子・石川亞弓・麻井さほほか</p> <p><b>特別作品評</b> 田和明「第二十三号特別作品 松本達雄」</p> <p><b>合評余滴</b> 小田鮎子・佐藤有一・千田まゆみ・田和明・鳥居昌彦・鈴木一俊</p> <p><b>連載</b> 阿木津英「石田比呂志資料集24 高野美智子歌集『胸に鳴る音』」、附・石田比呂志「喪失のうた——高野美智子小論」</p> <p><b>会員消息</b> 大村小夜子・加藤すみえ・岡本清高・河野幸子</p>	<p>主要作品・評論・エッセイ等</p>
<p><b>第四回八雁短歌会全国大会 in 横浜</b></p> <p>感想エッセイ</p> <p>小田鮎子・加藤すみえ・鳥居昌彦・佐竹游・水島育子・松本恭子・安藤直彦・千田まゆみ・田和明</p> <p>山崎方代の姉くまの婚家横浜市関歯科医 院訪問記</p> <p>「関由衣さんインタビュー」(聞き手〓阿木津英・八雁会員一同)</p> <p>「万葉集を読む」レポート</p> <p>市野ヒロ子「歌の迫真力」、永良えり子「大伴家持「御食つ国」を詠う」、島田達巳「山上憶良「貧窮問答歌」一首と短歌」、</p>	<p><b>競詠「老いて学ぶ」批評特集</b></p> <p>池本一郎「競詠特集に寄せて」、久々湊 盈子「精神の健康寿命」、真野少「短歌 とは(感情)生活である」</p> <p><b>追悼・吉田佳菜歌集「からすりの花」批評特集</b></p> <p>上妻朱美「コスモスを胸に抱えて」、林 ひかる「『からすりの花』と吉田佳菜 さん」</p> <p>一首評 平井靖治・浜祥子・若槻敦子・ 藤井征子・藤井順子・田和明</p>	<p>特 集</p>
		<p>主な活動記録</p> <p>11・15 八雁東京歌会設立(於 ・虎ノ門いきいきプラザ)</p>

2016	2016	
5	3	
No. 27	No. 26	
<p><b>草林集</b> 島田幸典・高橋則子・市野ヒロ子ほか  <b>時評</b> 渡辺幸一「危機感の差——『緊急シンポジウム』について思ったこと」  <b>作品Ⅰ</b> 小田鮎子・高久より子・田和明ほか  <b>作品Ⅱ</b> 真野かがり・園田富士子・新地浩一ほか  <b>作品Ⅲ</b> 住谷恵水・若月圭子・向山益雄ほか  <b>特別作品評</b> 井上克征・大川智子「外部発表作品 安</p>	<p><b>草林集</b> 阿木津英・足立尚彦・市野ヒロ子ほか  <b>作品Ⅰ</b> 松岡皓二・平井靖治・藤井玄ほか  <b>作品Ⅱ</b> 松本恭子・園田富士子・千田まゆみほか  <b>作品Ⅲ</b> 麻井さほ・水島育子・小田鮎子ほか  <b>草林集合評</b> 阿木津英・遠藤知恵子・吉川宏志（No. 29）  <b>作品欄合評</b> 安藤直彦・小田鮎子・上妻朱美（No. 29）  <b>特別作品評</b> 松本恭子・島田達巳「第二十五号特別作品 榎原一徳・藤井玄」  <b>合評余滴</b> 千田まゆみ・瀬戸内光  <b>連載</b> 島田幸典「鶏窓雑考20 竹山広の歌について（前）」、阿木津英「統標の木の下で13」（No. 29）、阿木津英「石田比呂志資料集26『標土』（昭35・4・5）」  <b>会員消息</b> 近藤優樹・叡義夫・笹井水輪・佐藤有一</p>	<p>No. 29）、鳩虫「忌野清志郎試論14」（No. 29）、阿木津英「石田比呂志資料集25『標土』（昭35・1・3）」  <b>会員消息</b> 大川智子・泉田多美子・北吹公・工藤貴響</p>
<p><b>島田幸典歌集『駅程』批評特集</b>    島内景二「近代は、現代を超えるか?」、高橋則子「志向するまなざし」    一首評 河野幸子・向山益雄・工藤貴響    ・水島育子    批評会報告 真野少「近代的? 現代的?」</p>	<p><b>追悼・押谷盛利</b>    「押谷盛利二十九首抄」（阿木津英選）    島田幸典「押谷盛利さんを悼む」、水島育子「印象的な作品」、三浦恒子「押谷さんの俳句と短歌」、真野少「京都歌会の二次会のこと」  <b>小特集・余滴の余滴『連作について』</b>    小田鮎子「歌が連関しているということ」、真野少「二つの世界を結ぶ通路」</p>	<p>遠藤知恵子「哲学以前」、上妻朱美「老歌人の憂いとかがやき」</p>
<p>4・10 島田幸典歌集『駅程を読む集い』（於東京・一ツ橋 日本教育会館）    4・30 真野少歌集『unknown』    批評会（於神楽坂日本出版クラブ会館）</p>	<p><b>向山益雄歌集『櫛溜』批評特集</b>    松村正直「見えないものを見る力」、藤井玄「まつすぐ向き合って悠揚と」    一首評 吉原秀雄・三津浜二緒・井上克征・若月圭子</p>	<p>2・28 第五回琅玕忌（於健軍文化ホール会議室A）    講演・高橋睦郎『蟬声集』    『琅玕』</p>

	2016		年
	7		月
	No.28		号
<p>藤直彦「神楽面」、工藤貴響「遠街」、佐竹游「正月二日」、向山益雄「梅いちりん」、遠藤知恵子「学校司書」、泉田多美子「潮時」、小田鮎子「日にちに聞く」長崎・鉄橋」</p> <p><b>合評余滴</b> 平井俊・鳥居昌彦・稗田和美・松本達雄 エッセイ 福田淳子「人を励ます歌ありて」</p> <p><b>連載</b> 島田幸典「鶏窓雑考21 竹山広の歌について(後)、阿木津英「石田比呂志資料集27『葉脈』(昭35.3.4.6)」</p> <p><b>会員消息</b> 庄司芳江・城田武雄・住谷恵水・鈴木一俊</p> <p><b>草林集</b> 阿木津英・井上みつゑ・松本達雄ほか <b>時評</b> 渡辺幸一「自分を晒して詠う覚悟を」</p> <p><b>作品I</b> 井上克征・佐藤有一・高久より子ほか <b>作品II</b> 永良えり子・三浦恒子・瀬戸内光ほか <b>作品III</b> 松岡皓二・平井靖治・住谷恵水ほか</p> <p><b>特別作品評</b> 鳥居昌彦・松本恭子「外部発表作品 島田幸典「視野」「静粛」「間隔」「貼紙」「鉛筆」「海芋」「浦上」「アロエの鉢」</p> <p><b>合評余滴</b> 田和明・近藤優樹・島田達巳・関口智子・福田淳子</p> <p><b>連載</b> 島田幸典「鶏窓雑考22 小池光『思川の岸边』の読みについて」、阿木津英「石田比呂志資料集28『未来』(昭34.6)」</p> <p><b>エッセイ</b> 住谷恵水「鴉の歌」</p> <p><b>会員消息</b> 新地浩一・関口智子・千田まゆみ・山田富士子</p>	<p>主要作品・評論・エッセイ等</p>	<p>特 集</p>	<p>主な活動記録</p>
<p><b>真野少歌集「Unknown」批評特集</b></p> <p>服部真里子「痛そう」、島田幸典「弱さ」からの発想」</p> <p>一首評 高橋則子・平井俊・佐竹游・小田鮎子</p> <p>批評会報告 工藤貴響「生の過剰と揺らぎ」</p> <p><b>連続特別企画・同世代の歌の風景②</b></p> <p>大川智子「揺るがないもの」(堂園昌彦)</p>	<p>真野少歌集「Unknown」批評特集</p> <p>服部真里子「痛そう」、島田幸典「弱さ」からの発想」</p> <p>一首評 高橋則子・平井俊・佐竹游・小田鮎子</p> <p>批評会報告 工藤貴響「生の過剰と揺らぎ」</p> <p><b>連続特別企画・同世代の歌の風景②</b></p> <p>大川智子「揺るがないもの」(堂園昌彦)</p>	<p>連続特別企画・同世代の歌の風景①</p> <p>小田鮎子「厄介なものとの距離」(服部真里子)、遠藤知恵子「まるごと」(大森静佳)</p>	<p>9・10・11 第五回八雁短歌会全国大会 in 京都 (於・知恩院和順会館)</p> <p>○歌会(ゲスト/吉川宏志、評者/阿木津英・島田幸典・安藤直彦・河野幸子・上妻朱美・松本達雄 司会/真野少)</p> <p>○深夜トーク「茂吉の魅力・白秋の魅力」「桐の花」「赤光」から(発表者/石川亞弓、工藤貴響、佐藤有一、藤井玄 司会/高橋則子)</p> <p>○「知恩院法要法話」</p> <p>○デイスカッション「万葉集を読む——巻七・八・九」</p>

2016		
9		
No. 29		
<p><b>草林集</b> 島田幸典・安藤直彦ほか(角田純参加・19名)  <b>時評</b> 渡辺幸一「歌わなければならぬこと」  <b>作品Ⅰ</b> 佐藤有一・秋鹿雅子・鳥居昌彦ほか  <b>作品Ⅱ</b> 新地浩一・千田まゆみ・中村有爲子ほか  <b>作品Ⅲ</b> 松岡皓二・平井靖治・井上克征ほか  <b>特別作品評</b> 高橋則子・大川智子「外部発表作品 佐竹游「水紋」「水仙」、井上みつゑ「蒙古風」、上妻朱美「歳晚」、安藤直彦「佐夜の鄙歌」、小田鮎子「九条は」  <b>合評余滴</b> 真野少・佐藤有一・永良えり子  <b>連載</b> 島田幸典「鶏窓雑考23 歌における〈身近〉さについて」、阿木津英「石田比呂志資料集29『未来』(昭34・7・8)」  <b>エッセイ</b> 向山益雄「画一化と自家撞着」、石川亞弓「歌の核」  <b>会員消息</b> 高梨千賀子・大光寺博子・高久より子・島田達巳</p>	<p><b>藤井順子歌集「野紺菊」批評特集</b>  久我田鶴子「良き妻も賢き妻も取り下げて」、桑義夫「蒲の穂」  一首評 向山益雄・安成元子・新地浩一・河野幸子  <b>連続特別企画・同世代の歌の風景③</b>  平井俊「『みんな／自己』の不在」(法橋ひらく)、工藤貴響「世界(他者)と出会う」(土岐友浩)</p>	<p>(レポーター)小田鮎子・近藤優樹・島田達巳・田和明 司会/阿木津英  ○「八雁一問一答 選歌・添削・編集・運営その他」  ○オプシヨン「京の花街散策」  9・18 八雁東京歌会(於・赤坂いきいきプラザ)  デイスカッション「同世代の歌の風景を見渡して」(発言者/遠藤知恵子・大川智子・平井俊・近藤優樹・工藤貴響 司会/阿木津英)</p>

(作成)工藤 貴響

\* 「主要作品・評論・エッセイ等」の項目の連載では、副題のないものは、各年の一月号にまとめて記した。  
「主な活動記録」の項目では、「八雁」創刊以前より開催されている歌会および講座は冒頭に記し、開催日は省略した。  
また、創刊後に新設された歌会は、第一回開催の月日とともに記し、以降の開催は省略した。

# 八雁会員著作一覽（五十音順）

- 阿木津 英著 『二十世紀短歌と女の歌』 學藝書林、二〇一一年
- 阿木津 英著 『方代を読む』 現代短歌社、二〇一二年
- 阿木津 英著 『黄鳥 1992～2014』 砂子屋書房、二〇一四年
- 阿木津 英著 『短歌講座キャラバン』 現代短歌社、二〇一六年
- 足立尚彦歌集 『でろんでろ』 ミューズコーポレーション、二〇一三年
- 安藤直彦歌集 『佐夜の鄙歌』 ながらみ書房、二〇一六年
- 泉田多美子歌集 『紫花菜』 ながらみ書房、二〇一二年
- 乾 正歌集 『寒葵』 現代短歌社、二〇一六年
- 木下長宏訳・解説、岡倉覺三著 『新訳 茶の本』 明石書店、二〇一三年
- 木下長宏著 『ミケランジェロ』 中公新書、二〇一三年
- 木下長宏著 『ゴッホ〈自画像〉紀行』 中公新書、二〇一四年
- 木下長宏著 『自画像の思想史』 五柳書院、二〇一六年
- 笹井水輪歌集 『ふうせんかざら』 ながらみ書房、二〇一二年
- 佐竹 游歌集 『草笛』 現代短歌社、二〇一四年
- 島田幸典歌集 『駅程』 砂子屋書房、二〇一五年
- 新地浩一歌集 『戦なき国』 砂子屋書房、二〇一一年
- 萩原克則歌集 『星月夜』 砂子屋書房、二〇一一年
- 藤井順子歌集 『野紺菊』 現代短歌社、二〇一六年
- 松岡皓二歌集 『翼鏡』 現代短歌社、二〇一二年
- 真野 少歌集 『unknown』 現代短歌社、二〇一五年
- 向山益雄歌集 『檐溜』 現代短歌社、二〇一五年